



設置構想についてアンケートを行っています。ご協力おねがいします！



恐竜博物館での講義



海外の研究者との共同研究

2025（令和7）年4月 設置構想中

（設置される学部の名称・内容などは予定につき、変更される場合があります。）

概要

- ・名称：恐竜学部 恐竜・地質学科（仮称）
（恐竜・古生物コース／地質・古環境コース）
- ・定員：入学定員 30名
- ・開設時期：令和7年4月
- ・本拠地：勝山キャンパス
（現 かつやま恐竜の森 第3駐車場）
（1年生：永平寺キャンパス、2年生以降：勝山キャンパス）



勝山キャンパス 新学部棟の鳥瞰イメージ図

福井県立大学 永平寺キャンパス 経営企画部 新学部増設準備室
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-61-6018 FAX 0776-61-6011
E-mail : shingakubu@fpu.ac.jp



新学部特設サイト→

福井県立大学 恐竜学部（仮称）

教育・研究の特色

県立恐竜博物館との 強力な連携体制

- ・ 研究設備の共同利用による最新の教育・研究
- ・ 博物館の研究職員が担当する実践的な講義・実習の実施
- ・ 展示や収集などの学芸に関するノウハウの学習

現場重視 —フィールド科学の実践—

- ・ 県内各地域における発掘・地質調査等、現場活動を重視
- ・ 現場情報を適切に判断し、対処する実践的スキルの習得

国際的視野に立つ 教育・研究

- ・ 恐竜研究センターとして、世界で活躍する研究者による学生指導や海外研究機関との共同研究により、先端的研究の推進と国際的感覚の養成

先端技術による研究

- ・ CTスキャンやVRなどの先端技術によるデジタル古生物学研究の確立
- ・ 県内の古生物・地質資源のデジタルアーカイブ化
恐竜を活用した福井県の魅力度向上

恐竜学部で学べること（一例）

県下全域におよぶ学びの環境を活かし、恐竜学や地質・古気候学などを学びます。



化石発掘



クリーニング



レプリカ標本作成



標本展示



古生物3Dモデル作成

多方面に
展開する
卒業後の進路

① 政策立案・教育・研究分野

⇒ 研究者(大学)、博物館学芸員、教員(理科)※ 等

※教職課程については、申請予定であり、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

② デジタル関連分野

⇒ IT関連産業、土質力学・道路測量に関する地質系のデジタル関連産業等

③ 観光関連分野

⇒ ジオパークなどの自然関連の観光業(旅行会社、ツアーガイド)、出版業、報道関係 等

④ 地質関連分野

⇒ 地質・土木・建築系コンサルタント、公務員(土木)、ゼネコン等の建設産業、環境アセスメント関連等